開港記念会館実施マニュアル

会場の特徴・良かった点

- 歴史ある内装で、厳粛な雰囲気をつくりやすい。
- 講堂は481名を収容でき、後方席からも比較的ステージが見やすい。
- 控室の数が多く、待機場所を確保しやすい。
- 講師入場口のすぐ脇に待機スペースがあり、登壇時の誘導がしやすい。
- アクセスが良く、メンバーも会場に通い慣れている。
- 施設スタッフはJCの利用に慣れており、親切に対応していただけた。
- 会場を使い慣れているメンバーが多く、設営時に動きやすい。
- 照明の操作がシンプル。
- 扉の数が少なく、ドアクローズの担当を配置しやすい。

受付・来場者の案内

- 受付に使用できる範囲が狭く、来賓・来訪者・特別会員・正会員の受付台をすべて並べると、許可範囲を超える場合がある。
- 許可範囲を超える場合は、施設スタッフと事前に調整する。
- 受付とトイレへの動線が重なるため、待機列が通路をふさがないようにする。
- 受付スペースは施設入口に近いため、他の施設利用者の通行を妨げないようにする。
- 扉を閉めても、廊下での談笑が講堂内に聞こえやすい。
- 遅参者は2階で待機していただき、入場可能なタイミングで2階席へ案内する。

開港記念会館実施マニュアル

ステージ設営・投影

- ステージが狭いため、メディアボードはステージ前縁と平行に、中央に2枚並べて設置することを推奨する。
- この配置ではメディアボードのシワが目立ちやすいため、設営時にシワを伸ばし、客席から見え方を確認する。
- スクリーンはステージ前方に下りるため、登壇者と重ならないよう、スクリーンを下ろした状態で立ち位置を確認する。
- スクリーンとプロジェクターの設置位置に高低差があるため、投影位置や映像の歪みを事前に確認する。
- 2階席の両サイドからはステージが見えにくいため、当日の設営後に見え方を確認する。
- 司会台のマイクの高さによっては司会者に負担がかかるため、リハーサルで本人が高さと姿勢を確認する。

照明・音響

- 照明・音響はメンバーが操作するため、事前に担当者を決めておく。
- 照明の設定に選択肢が少なく、客席の明るさによってスライドが見えにくくなる。
- 10月は客席中央の照明を点灯した際、明るすぎてスライドが見えにくいとの声があった。
- 次回は10月の設定から照明を一つ減らした状態で投影し、後方席や2階席から見え方を確認する。
- 音響設備は細かな調整が難しく、一度音量を固定すると本番中の変更が難しい。
- リハーサルでは、本番で使用するマイクと動画の両方を使って音量を確認する。
- 開演後は客席の物音で音が聞こえにくくなるため、無人時の確認で適切と感じた音量より少し大きめに設定する。
- 無線マイクは2本のため、対談後に客席から質問を受ける場合は、マイクの受け渡し手順を決めておく。

搬入・搬出

- 周辺にトラックを停められる場所が少ない。
- トラックを使用する場合は、停車場所と搬入・搬出経路を事前に確認する。